

最優秀賞

【テーマ】 材料開発における大規模データの自動解析と相補的データ利活用プラットフォームの構築

【代表者】 林 悠偉

【組織名】 株式会社 a.s.ist



【講評】 材料開発に必要な計測実験データや材料の品質検査データを、AI 技術によって自動データ解析を実現するプラットフォームの構築についてご提案頂きました。本提案は統計理論に基づいており、解析システムとして統合した技術は非常に独創的。将来的に産業材料・経済の分野および近年着目されている AI for Science の発展にも貢献すると期待されることから、最優秀賞とさせていただきます。

優秀賞

【テーマ】 Human-Centered Autonomous Vehicles: Enhancing Passenger Trust and Comfort through rPPG, Theory of Mind, and ExplAInable AI. （人間中心の自律走行車：rPPG、心の理論、説明可能 AI による乗客の信頼と快適性の向上）

【代表者】 Fady Alnajjar

【組織名】 United Arab Emirates University



【講評】 乗客の心の状態を AI 技術により取り入れる自律運転技術をご提案頂きました。自動車を人間との対話ロボットとして扱うアプローチは、自動運転のみならずロボティクスやエージェント AI のフレームに今後無くてはならない技術になり得る可能性を高く評価し、優秀賞とさせていただきます。

奨励賞

【テーマ】 Transforming Commercial Mobility with AI-Enhanced GPS-Independent Navigation Solutions (AI 強化による GPS 非依存型ナビゲーションソリューションを活用した商業モビリティの変革)

【代表者】 Kanwar Singh

【組織名】 Skyline Nav AI, Inc.



【講評】 AI による推定を用いた GPS 非依存ナビゲーションシステムをご提案頂きました。カメラと慣性計測装置からのデータを統合し、AI による高度な推定技術を活用することで、都市部・農村部・遠隔地など GPS 信号が不安定または利用できない環境でも、正確な自己位置の把握を可能にします。コスト効率にも優れており、高精度な位置情報を必要とする自動運転などの用途において、信頼性の高い冗長系ソリューションとしても非常に有用です。この技術の高い将来性と汎用性を評価し、奨励賞とさせていただきます。

奨励賞

【テーマ】 Microstructure-Generation Chatbot Based on Generative Artificial Intelligence（生成 AI に基づくマイクロ構造生成チャットボット）

【代表者】 鄭 銷陽

【組織名】 東京大学 大学院工学系研究科



【講評】 会話によって新規材料の微細構造設計を行う AI 技術をご提案頂きました。新規材料設計に要する労力を大幅に軽減できるご提案であり、今までにない革新的な材料の発明に繋がる AI 技術の可能性を高く評価し、奨励賞とさせていただきます。

奨励賞

【テーマ】 マルチモーダル大規模言語モデルを活用した感情特化型コンテンツ生成システムの研究開発

【代表者】 井下 敬翔

【組織名】 関西大学大学院商学研究科/滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター



【講評】 複数モダリティを統合し、リアルタイムで感情を多角的に分析・解釈する AI 技術をご提案頂きました。複数モダリティを精度良く成立させる AI 技術としてご提案頂き、将来性を高く評価させていただきました。提案目的である Well-being の向上という社会的な課題に多角的な着眼点も共感し、奨励賞とさせていただきます。

奨励賞

【テーマ】 コンテナ型栽培システムによる農業・物流課題の解決

【代表者】 佐々木 佑介

【組織名】 株式会社きゅうりトマトなすび



【講評】 AI 技術を利用したコンテナ型栽培を活用した「移動型農業」をご提案いただきました。デジタルツインなどを活用した遠隔監視プラットフォームや環境制御システムとの連携により効率的に栽培、輸送可能にしたご提案の AI 技術の優秀さや、一次産業における社会課題に正面から取り組んでいる点について高く評価し奨励賞とさせていただきます。